

No.
03

ELPA Vision

Photo by Haruhisa Shirato

アクティブ・ラーニングでの ICT 活用

羽衣学園中学・高校 米田 謙三

国際バカロレアと 21 世紀型スキルに 通じた教員の養成を

取材／文 本誌編集部

アクティブ・ラーニングと英語教育

文京学院大学外国語学部 准教授 清水 公男

TTS（音声読上げ）と発音矯正ソフトの取組み

HOYA サービス株式会社 音声ソリューション事業部 藤田雅也

特定非営利活動法人 (NPO)

ELPA
英語運用能力評価協会

〒102-0074 東京都千代田区九段南4-3-4 大江ビル1階

TEL : 03-3230-0571 FAX : 03-3230-0572

<http://npo-elpa.org> elpa@english-assessment.org

4技能型
対応

英語の土台づくりの新提案

聞く・話す・書く

英語の語順トレーニング

監修 飯野厚 (法政大学教授)

徹底したリスニング、音読、ディクテーションのくり返して、文のしくみを理解する

Speak
話す

Write
書く

聞く・話す・書く
英語の語順
トレーニング
Level 1

Listen
聞く

発音トレーニング
プログラム付き
ICT活用学習応援
キャンペーン中!

教師用
小テスト付き
全25回のテストで、
定着度合いを測定!

Level1

中学校学習内容

Level2

高校1年

Level3

高校1年～高校2年

※Level2、Level3は、順次刊行予定

聞く・話す・書く「英語の語順トレーニング」Level 1

- ① 本冊 (B5版 56ページ Lesson 20回分+ Mix Training 5回分) [バラ納品可能]
- ② 解答・解説書 [バラ納品可能]
- ③ Check Test + 確認テスト(教師用) [別売り(バラ納品)可能: 定価 108円(100円+税)]
- ④ 教師用CD×3枚(本冊用CD×2枚、Check Test + 確認テスト用CD×1枚)
- ⑤ 音声認識・ディクテーションソフト(Windows用/本冊40冊以上採用ごとに、1ライセンス/1年間有効)
※2017年5月末までキャンペーン中につき、40ライセンスまでご提供

定価 864円(800円+税)



アクティブ・ラーニングでの ICT 活用

羽衣学園中学・高校 米田 謙三

ICT を教育で活用する議論の前に、今の子どもたちの ICT 環境のことを考えてみましょう。現在の高校一年生は 2000 ～ 2001 年生まれ。彼らがお腹の中にいる頃に i-mode が誕生し、4 歳の頃にはブログがブームになり、日本発の SNS サービス、mixi が誕生しました。タブレットの原型となる iphone は 8 歳の時に発売され、現在の中高生が最も活用しているネットワークサービスである LINE は 11 歳の時にサービスを開始しています。つまりデジタル・ネイティブどころか、生まれながらにしてネットワーク環境が整備された社会に生きているのです。

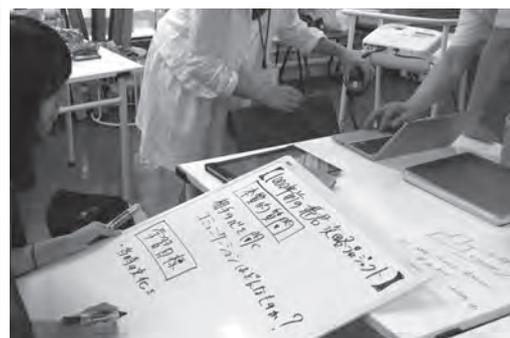
これまでの教育現場における ICT は「よい授業を作る」ために、一斉授業のための教員のための提示ツールであったり、生徒自身が調べるため・発表するためのツールであったり、といった活用が中心でした。アクティブ・ラーニングを促す授業の実践が求められる現在は、「よい学び」を実現するために、一斉・個別・協働という 3 つの学習スタイルをいかに使い分けられるかが重要になってきます。英語の授業を考えてみても、考える、調べる、表現（発表）するといった学習行為の前に確実なインプットが必要です。ある時は一斉授業が行われるかもしれませんが、学力格差が広がる中

で個別の学習機会も必要になってきます。そういったスタイルに応じて機器やシステムの使い方・取り上げ方が変わってきます。

また、アクティブ・ラーニングの要素の一つである「協働的な学び」ではタブレット端末が活躍している例もあります。タブレット端末の特性の例として「見る」「見せる」「ためる（蓄積する）」「動かす」「コミュニケーション」などがあげられます。これらの特性を活かして、調べる、まとめる、伝えるといった作業を伴う、協働的な学びには適しています。

タブレット端末は、考える、調べる、表現（発表）するためのツールとして活用できます。アクティブ・ラーニングとタブレット端末はうまく活用すれば、指導方法・学習方法の改善に大いに役立つと思われます。ICT の導入を巡ってはいまだに様々な議論が続いています。最初に書きましたように現在の生徒たちは、私たち教員のよりも ICT が生活の中で当たり前になっているのです。ICT に依存するのではなく、教師の弱点や様々な物理的な制約を補い、生徒の学びをアクティブにするためのツールとして、ICT を活用していただきたいと思います。





国際バカロレアと21世紀型スキルに通じた教員の養成を

取材／文 本誌編集部

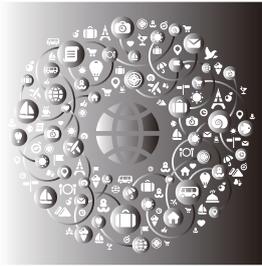
今年の夏季休業期間中、武蔵野大学社会連携センター主催の「国際教育プロフェッショナル教員養成プログラム」が実施された。

国際バカロレアについての理解を深めることと、21世紀型スキルを育成することができる教員の養成を目的としている。国際バカロレアについては昨年度より一部日本語による授業が実施されるようになり、人気が高まっているが、教員資格が取得できる大学もまだわずかといった状況である。そのような中でこのプログラムは、理念だけでなく探究型学習、論文指導法、デザイン思考、ケーススタディなど国際バカロレアの概念を構成する要素についてもじっくりと学ぶことができる。

取材に訪れたのは、全日程の終盤であるグループワークの時間。発表会を行うための準備のワークショップだ。担当するのは田邊則彦先生（清教学園特任教諭・同志社大学嘱託講師）。どのようにアクティブな学びを実現できるか、田邊先生とのやりとりの中

で参加者は意識を高めていく。写真は古文でアクティブな学びのために、古典に登場する女性のハートをつかむにはどうすればいいか、という課題を設定しようと考えている様子。ここで注目していただきたいのは、デスク。考えをまとめたり、共有したり、評価したりするためにICT機器が活用されるが、この教室では、天板がホワイトボードになっているデスク、個人のためのホワイトボード、可動式のスタンド型ホワイトボードが用意されている。その場ですぐに表現でき、共有し、評価し合うという行動のためには現状のICT機器の利用環境を考えたときに、こういったボードがより有効ではないかと感じられる。参加者の行動を見ているとそれを強く実感した。

17日間102時間の講義と演習に加え45時間の事前事後のeラーニング学習といった短期集中型のプログラム。国際バカロレアの実施校ならずとも、こういった感覚を身につけてアクティブ・ラーニングを実現できる教員が増えることは歓迎すべきではないだろうか。



アクティブ・ラーニングと英語教育

文京学院大学外国語学部 准教授 清水 公男

ここ数年、「アクティブ・ラーニング（以下AL）」という用語が何らかの教育に関わる様々な場面で登場し、AL関係の研修会が盛んに行われている。一例であるが、今年の1月に気象庁で開催された気象キャスター向け講習会の題目ですら、『防災教育とアクティブ・ラーニング～より効果的な防災啓発に向けて～』となっており、今やALに振り回される感すらある。自分の勤務校でも、今夏に開催する「免許状更新講習会」の講習内容の一部にALという用語が使用されるようになった。そこで、ALとは何かということについての理解を学内の関係者に確認したところ、「教育手法であることは何となくは分かるのだけど、具体的にと言われるとよく分からない」という回答がほとんどであり、ALとは、何かを全面的（又は部分的）に変えるのか、何かを補てんするのかなど議論はつきなかつた。しかし、これがALの現状かもしれない。うがった見方をするとこのALの熱が引き、残ったものを考えた時に、このALの正体が何であるのか分かるのかもしれない。

日頃の不勉強をさらすことになるかもしれないが、自分の理解としてはALとは教科を超えた「生徒の学びを育てるアプローチ」と考える。これまで学校での学びは、自己完結型の系統的な教科学習が中心であったが、ALのめざす学びは学校での学び（学校知）を外へと開いていく試みである。では、「何に対して開かれるのか」ということになるが、それは教科学習を超え、自分の将来、地域活動、そして世界等に対してという広い意味で考えたい。このアプローチは広い知的活動へと生徒を導き、学ぶことの意義を生徒自身が取り戻すことを支援する試みであり、教師にはそのための指導法、教材開発、そして学びの場を準備し起動させる授業作りが求められ、それに呼応するように生

徒自身にもそのような学びを通じて、自ら考える力、表現力、自己評価力を育てることが期待されてくる。ここまで述べると、そのような実践は少なからず既に実践されてきたのではないという反論もあろうが、然りである。

では、英語教育でこのALをどう実践していったらいいのだろうか。多くの英語教師の悩み所でもある。次の学習指導要領の改訂に関わっている関係者によると、中高の教科の中でALを一番すんなりと受け入れられるのは英語教師であるそうだが、ことは簡単でない。理由の一つは、言語習得のための英語学習と同時に、ALを習得型（基本的・基礎的知識・技能習得）—活用型（思考力・判断力・表現力等の育成）—探求型（実践活用能力の育成）の関連とベストミックスで結びつけ授業をデザインしていく教師の力量形成が教師に問われるからである。それは、単純にcritical thinking・プレゼン・ディベート等のAL系技法をマニュアル的に授業に取り入れるだけでは不十分で、一元的・静的な学びを、機能的で多元的なAL的学びへと転換させる授業作りの在り方を考えなくてはならないからである。もう一つの理由は、ALの評価に推奨されるルーブリック評価の限界性の問題である。ルーブリックを使ったパフォーマンス評価で生徒の学びを把握するといっても、ALで期待される学びは個別かつ多様に展開されるもので、常に予測不可能な出来事をはらんでおり、むしろそのような多様な学びが起こる授業のダイナミズムこそがALの学びの本質だからである。従って、そのような学びを事前に設定した基準で捉えるのは矛盾であり、評価における「逆引き設計」の限界ともいえる。この問題については別の機会にまた考えたい。



TTS（音声読上げ）と 発音矯正ソフトの取組み

HOYA サービス株式会社
音声ソリューション事業部
藤田雅也

テキストを自動音声に変換させるソフト TTS (Text to Speech) を私たちが日本市場で取扱いして現在で 13 年目になります。その TTS は VoiceText という製品名で、販売対象国のネイティブ・スピーカーが納得する品質となるべく開発しています。日本ではおもに日本語、アメリカでは英語等を提供し、その品質をそのまま日本の語学教育用とすることで、英語教員用ソフトとして利用されるようになりました。

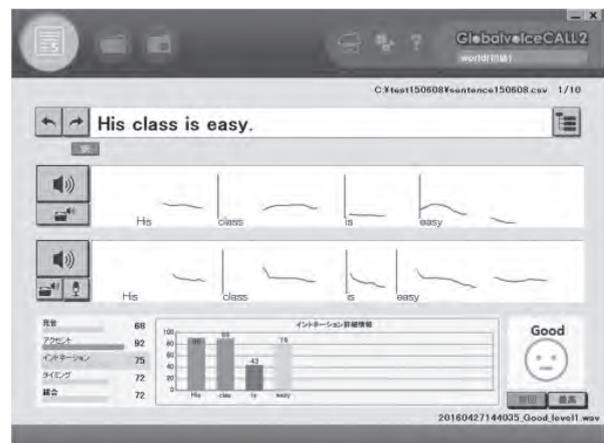
英語教員育向けには GlobalvoiceEnglish という TTS ソフトがあり、「アメリカ英語」+「イギリス英語」+「日本語」の読上げが設定できます。ネイティブ・スピーカーでない日本人でも、PC 上で入力したテキストを、ソフトが流暢な音声で「読上げ」、音声ファイルとして「保存」ができます。おもに大学や高校の CALL 教室用ソフトや、リスニング教材作成ツールとして採用されています。特に、音声 CD のない教材をテキストから音声へモデル音声を自動生成できることで、重宝されています。

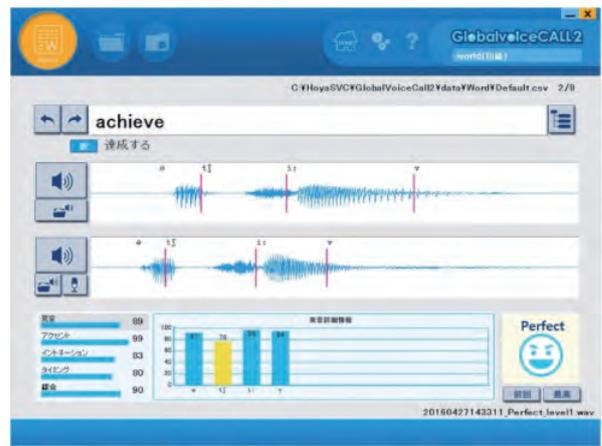
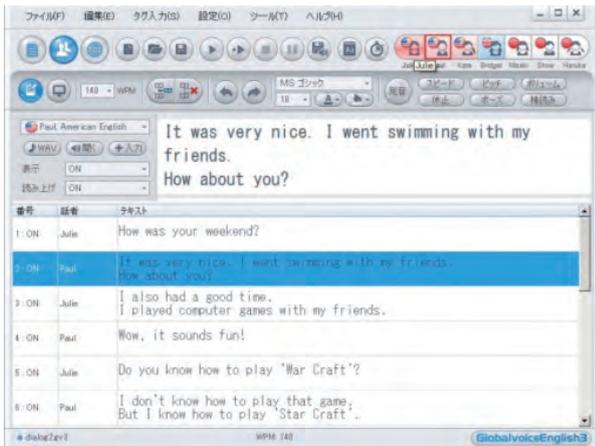
いっぽう読上げだけでなく、英語発音の判定ソフトのニーズが多くよせられたことで、英語発音矯正ソフト「GlobalvoiceCALL」を発売しました。製品コンセプトは、利用者が自由に登録した「単語」や「センテンス」のコンテンツを、内蔵する TTS ソフトの音声や、外部音源をモデル音声として、学習者がどれだけ近似して発音できるかを比較判定するソフトです。単語の練習では、各音素やアクセントがどの程度上手に話せるかということが重要視されます。しかしながら、センテンスの場合は、音素の上手さだけでなく、イントネーションやデュレーション（タイミング）の違いも

判定できることで、学習者自身がどの部分を改善して練習すればよいのかをソフト上で一目瞭然に理解し、繰り返し練習ができる仕組みとなっています。

日本の英語教員の多くが発音指導はあまり得意ではないということをよく聞きます。そのような状況でも、例えば本ソフトの単語練習では、各音素の発音方法の動画を見たり、判定結果グラフから改善点を判断できることから、教員の指導を補助する有益なツールとなっています。とある中学生がこのソフトを利用し発音練習した事で、高円宮杯で見事『優勝』されたようです。もちろん、その生徒と指導教員が良かったことが一番ですが、このソフトが彼らを支援できたことが私たちにも何より心強いものになりました。

学習者が自由に単語やセンテンスを登録できすぐに練習できるメリットは、このような学生の可能性を引き出すことにも活用することができます。現在は、おもに大学、高校、高専を対象に、発音学習の基礎を学んだり、プレゼン等の自由文の練習を発音練習するツールとして利用されています。





これからも HOYA サービスは音声面から語学学習で、先生方の支援をできるよりよいツールづくりを目指していきます。

HOYA サービス 製品ページ：<http://voicetext.jp/>
Globalvoice 製品ホームページ：
<http://voicetext.jp/products/globalvoice/index.html>

聞く・話す・書く

英語の語順トレーニング

Level 1
定価 864 円
(800 円+税)

①本冊

B5版 56 ページ (バラ納品可能)
Lesson 20 回+Mix Training 5 回分

②解答・解説書

B5版 56 ページ (バラ納品可能)
各 Lesson +Mix Training 分

③Check Test+確認テスト

教師用 1 部

- 別売り可能 (バラ納品)：
定価 108 円 (100 円+税)

④教師用 CD×3 枚

本冊 × 2 枚
Check Test+確認テスト用 × 1 枚
音声ダウンロードサイト (準備予定)

⑤音声認識・ディクテーションソフト

Windows 用ソフトインストール DVD-ROM

本冊 40 冊以上のご採用で、1 ライセンスご提供 (1 年間有効)

追加ライセンス購入は、1 ライセンスごとに、3240 円 (3000 円+税)

キャンペーン中!!
2017 年 5 月まで

ICT 活用学習応援キャンペーン
(2017 年 5 月末までのお申し込み)

- 本冊 40 冊以上のご採用で、40 ライセンスまでご提供
- 本冊 39 冊以下のご採用でも、1 ライセンスをご提供

お申し込みは ELPA まで

今般の高大接続改革に代表される教育改革の中で英語の「四技能」と並んで「アクティブ・ラーニング」とは重要なキーワードとなっています。このほど日本アクティブ・ラーニング学会 (会長: 米田謙三 羽衣学園中学・高等学校) は来年 3 月の正式発足を目指して活動を開始しました。同学会は学校教育にかかわる教職員・研究者・企業が研究・実践を通して、その成果を共有し、普及・

啓発活動を行い、教育の質的向上につなげるための活動を行います。

また、同学会の一つの特徴としては、研究者と実践者、さまざまな校種、現場の教員と職員)、教育界と実業界 (一般企業/教育支援企業) と立場の違う関係者がその垣根を越えて、情報交流・共有、共同研究、討論、など様々な交流を進めていくことです。

日本アクティブ・ラーニング学会発足記念シンポジウムのご案内

シンギュラリティはこわくない 人工知能をつかひこなすためのアクティブ・ラーニング

基調講演

講演者: 中島秀之 (東京大学 特任教授・はこだて未来大学名誉学長)

シンポジウム

人工知能をつかひこなすためのアクティブ・ラーニング

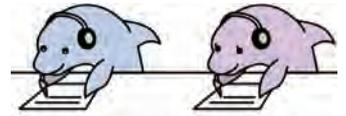
登壇者: 講演者+学会設立メンバー

【会 場】 千代田女学園中学校高等学校

【日 時】 2016 年 11 月 3 日 (木) 文化の日 9:30 ~

【主 催】 日本アクティブ・ラーニング学会

問い合わせ <http://jals2030.net>



※各会場とも駐車場がございませんので、公共機関をご利用下さい。

ELPA 2016 年度英語教育セミナー

2020 年高大接続改革と英語教育改革に向けて

**「基礎英語定着への取り組み」と
「英語 4 技能対応の授業を考える」**

	日時	会場	講師	
実施スケジュール	2016 年	8月27日(土)	名古屋：ウィンクあいち〈終了しました〉	金谷 憲・堤 孝
	9月3日(土)	札幌：ACU〈終了しました〉	金谷 憲・西村 秀之	
	10月22日(土)	仙台：仙都会館	金谷 憲・本多 綾子	
	10月29日(土)	富山：ポルファートとやま	根岸 雅史・大坪 克哉	
	10月30日(日)	大阪：梅田スカイビル	金谷 憲・山口 和彦	
	11月13日(日)	広島：RCC 文化センター	根岸 雅史・多賀 由里	
	11月26日(土)	福岡：AQUA 博多	根岸 雅史・川野 敬吾・矢野 博紀	
	12月17日(土)	東京：研究社 英語センタービル	金谷 憲・根岸 雅史	
2017 年	1月21日(土)	大宮：大宮ソニックシティ (予定)	金谷 憲・他	

テーマ① 「基礎英語定着への取り組み」 名古屋・札幌・仙台・大阪・東京・さいたま 会場

テーマ② 「英語 4 技能対応の授業を考える」 富山・広島・福岡・東京 会場

開始 13:30 ~ 17:00 (13:00 ~ 受付開始) ※東京会場のみ 14:30 ~

定員 100 名 (主な対象) 中学校・高等学校の先生方、教育関係者

参加費 一般 2,000 円 / ELPA 会員は無料

主催・問い合わせ

NPO 法人 英語運用能力評価協会

〒102-0074 東京都千代田区九段南 4-3-4 大江ビル 1 階

TEL : 03-3230-0571 FAX : 03-3230-0572

MAIL : elpa@english-assessment.org HP : http://npo-elpa.org/



表紙について：伏見稲荷大社 千本鳥居

京都へ行くたびに立ち寄る伏見稲荷大社ですが、鳥居には意味があります。

「願い事が『通る』或いは『通った』御礼の意味から、鳥居を奉納する習慣が江戸時代以降に広がった結果です。現在は約 1 万基の鳥居がお山の参道全体に並んで立っています」

* 伏見稲荷 HP より

ちなみに個人でも鳥居の奉納が出来るとの事です。

<http://inari.jp/gotinza1300/index.html>

FROM EDITORS

●先日、大磯に行ってきました。大磯と言えば吉田茂。吉田茂邸は残念ながら焼失のため再建中でしたが、あの箱根駅伝の平塚中継所を超えて数キロ行ったあたりがすごい。山県有朋、陸奥宗光、大隈重信、伊藤博文、西園寺公望、みなお隣さんと並んでいるのでした。(難波)

●映画製作こそが最高のアクティブ・ラーニングだと思っている私。教育課題や社会情勢を切り口に旬の、上質な映画を紹介するサイト「映画と教育」

<https://www.manabinoba.com/movie/>

や映画製作にまつわるこんなコラムは是非見てもらいたいと思います。

「映画『君の名は。』新海監督の言葉に隠された『考え方』のヒント」

<http://www.mag2.com/p/news/220180>

*「シン・ゴジラ」「君の名は。」何回も見るんだらうな…… (白戸)